



ともに生きる人間のまち…みほ

社協だより

第 8 号

平成 3 年 8 月 1 日
(年 2 回)

編集 発行
社会福祉法人
美浦村社会福祉協議会
老人福祉センター内
☎ 8 5 - 0 0 3 8



木原保育所と老人会の交流風景

道

長い人生にはなあ

どんなに避けようとしても
どうしても通らなければ

ならぬ道：

てものがあるんだな

そんなときはその道を

黙って歩くことだな。

愚痴や弱音を吐かないでな。

黙って歩くんだよ

ただ黙って—

涙なんか見せちゃダメだぜ!!

相田みつを

社会福祉協議会は、村民の皆さんから会費等をいただいで運営している社会福祉法人格の団体であります。

平成3年度会費報告

(平成3年7月20日現在)

◆特別会費

合計 640,700円

特 別 会 費	金 額	特 別 会 費	金 額
細谷建設工業	30,000	美 浦 村 長	5,000
美浦総合商	30,000	美浦村収入	5,000
日本テキサスインスツルメンツ	30,000	美浦村教育	5,000
稲敷農協安中支所	10,000	美浦村役場	101,500
美浦村農協	10,000	木原保育園	3,500
美浦ビケン	10,000	大谷保育園	7,500
関東農産美浦工場	10,000	美浦村幼稚園	5,000
スガノ農機	10,000	木原小学校	14,500
美浦電機工業	10,000	大谷小学校	20,000
丸井織維工業	10,000	安中中学校	14,700
市川建設工業	10,000	美浦中学校	23,500
昭和スプリング製作所	3,000	美浦消防出張所	8,000
美浦ハイヤー	10,000	社会福祉協議会職員	5,500
美浦LPG	10,000	美浦村民生委員20名	60,000
美浦ガス	10,000	美浦村民生委員18名	36,000
茨城ヤンマー農機販売	3,000	安藤藤建設(KK)	10,000
常陽銀行美浦支店	10,000	高橋工務店	10,000
美浦中央病院	10,000	高橋造花子	10,000
美浦緑興	10,000	霞ケ浦電	10,000
西洋環境開発	30,000		
日本酸素	10,000		

本会は、村民全戸加入を目標とした一般会費と、村議会議員の皆様を始めとし、学校、消防署、役場など村内官公署に勤務する方々には賛助会費として協力いただく一方、村内にて経済活動される企業、
あるいは商業関係者には特別会費として多大の配慮をいただいております。
別記のとおりご報告を申しあげ、誌上にて感謝の意を表します。
ありがとうございました。

◆一般会費

行政 区	金 額	行政 区	金 額	行政 区	金 額
浜	32,000	布 佐、 台	69,500	馬 見 山	9,500
登 宿	32,000	土 屋	130,000	馬 掛	21,000
山 戸 丁	18,500	上 舟 子	85,000	大 山	52,500
田 中	24,500	下 舟 子	105,500	大 山 東 部	34,500
上 宿	27,500	大 塚	14,500	美 駒 A 1 区	43,000
後 宿	17,500	谷 中	8,500	美 駒 A 2 区	22,000
郷 中	57,500	山 王	7,500	美 駒 A 3 区	44,500
受 領	60,500	山 内	10,500	美 駒 A 4 区	36,500
大 須 賀 津	49,000	八 井 田	21,000	美 駒 A 5 区	49,500
大 茂 呂	11,000	根 火	18,000	美 駒 A 6 区	36,000
宮 地	14,000	牛 込	13,500	美 駒 A 7 区	51,000
余 郷	17,500	木	8,500	美 駒 A 8 区	51,000
石 灘、根古屋	86,500	定 光	8,500	美 駒 A 9 区	56,000
須 賀	27,500	本 橋	17,500	美 駒 B 区	27,500
仲 妻	8,500	間 野	7,000	美 駒 C 区	15,000
給 分	27,000	土 浦	39,000	美 駒 D 区	18,000
南 原	31,500	端 山	9,000	美 駒 E 区	55,500
興 津	47,500	小 計	573,000	小 計	623,000
小 計	590,000			合 計	1,786,000



平成3年度の主な事業計画

皆様方にご協力いただく会費は、次のような計画に使用させていただきます。
主な事業をお知らせいたします。

目標標語

ともに生きる人間のまち …… みほ

重点事業

1. 在宅福祉事業

- (1) ひとりぐらし老人の対策
 - 配食サービスの実施(月1回) …… 民生委員による配布
 - ひとりぐらし老人友愛訪問の実施(3回以上) …… 老人クラブ委託
 - おせち料理の配布
- (2) 寝たきり老人対策
 - ねたきり老人介護者慰労 …… 県外等における日帰り慰労及び、各自の親睦交流を図る。
 - ねたきり老人介護者研修懇談会 …… 要望、情報交換の実施
 - ねたきり老人友愛訪問の実施(3回以上) …… 老人クラブ委託
 - ねたきり老人紙おむつ助成 …… 共同購入 ½ 助成
 - 歳末慰問見舞品贈呈

2. ボランティア推進事業

ボランティア活動の定着化と、充実を図るため、「わがまちボランティア活動促進フォローアップ事業」の県補助事業助成を受け実施する。

- (1) 啓蒙養成事業
 - ボランティアの意向調査
 - 児童・生徒への福祉教育の推進
 - 機関紙の発行
- (2) 活動基盤づくり
 - ボランティア基金等の設置
 - 新規ボランティアの開拓
 - ボランティア連絡協議会の結成
- (3) ボランティア研修
 - 先進地におけるボランティア活動の研修
 - ボランティア福祉講座の開催
 - 手話講座の開催
- (4) ボランティアによる支援活動
 - 配食サービスの調理(各グループ輪番による弁当作り)
 - おせち料理の配布(各グループから出席、料理作り)
 - 敬老会等村内福祉行事への参加
 - ひとりぐらし老人、ねたきり老人自立支援活動の援助
- (5) 高齢者の地域参加活動事業
 - 三世代ふれあい事業(クロッケー大会、歩け歩け大会)
 - 保育園児とのふれあい交流(2ヶ所)



新治村ボランティアとの交流会

地域で、心豊かな生活を送ることが、長寿社会でのお年寄りには最高の生活といわれています。

本村で実施している、ひとりぐらし老人食事サービスの実状を調査し、今年中にも実施したいと、筑波山麓に近い新治村ボランティア活動希望の男女一行、二十余名の方々が本村を訪れました。

男女同数位の構成は、今後の新治村福祉活動の発展に、他村のことながら羨望の思いでした。

月一回の本村の食事サービス実施状況に対し、矢つぎ早の質問に、説明役として参加したわが村ボランティアグループ代表者達も、たじたじするほど熱心な話し合いとなりました。

在宅福祉の基本は、ひとりぐらし老人の食事サービスや個々の家庭での援助、あるいは、寝たきり老人の入浴サービス、一日お預りして生活で



きるようなデイサービス等々を、地域の人達の思いやりとその直接の援助をうけながら行政、あるいは社協などが一体となってサービスのできることが最善といわれています。本村は勿論のこと、視察交流に訪れた新治村にも、このような課題の模索、あるいは構築、あるいはその時期にきていることは間違いないことである。

平成三年度事業報告

ボランティア大会に藤あみ出品

藤編みを趣味として、福祉センターでいろいろな作品を製作している婦人グループがある。

老後の生活のための生きがいの糧とし、趣味活動を通して作る喜びを味っているものと思う。

たまたま、ボランティア大会の福祉バザーに作品を寄贈してくれることになり、阿見

町から来ている宮本先生の指導により、花用掛籠、菓子用皿など小物作品を数多く作り出品された。

この益金、六千余円を善意銀行に寄付していただきましたが、福祉への参加は、自分の趣味を満しながら、立派に成り立つもののお手本になったものと思う。

会場では、陳列またたく間

県南地区ボランティア大会開く

去る六月二十七日、太平洋高気圧の広がる夏の太陽の照りつける中で、牛久市制五周年記念と併せた、県南地区五市、十七町村社協と、県社協三者合同の、ボランティアの祭典地方大会が、牛久

午前中は、県南地区の小・中学校から選抜された五校の児童・生徒の、スライド、あるいは寸劇を交えた福祉作文の発表に、子供達の福祉にかける想いを間近に感じ、心強く思った次第……。

市民会館に二千名の人々を集めて盛大に開催されました。牛久市民コーラス「コール若葉」の主婦グループのさわやかな歌声に幕が開き、厳かにオーブンセレモニーが進む。

午後は、テレビで知る、ピンポンパンのお兄さん!!あの坂本新兵さん。ご自分ではもう「おじさん」とわざわざ、頭のでっぺんを聴衆にさらしての熱弁。「地域とともに歩む」と題した講演に、講師自身保護司の委嘱をうけての数々の体験をとりまぜてのボランティア活動を披露。

県社協、関会長と、牛久市大野市長さんの力強いあいさつに、この大会に出席してよかったと思う人が多かったに違いない。

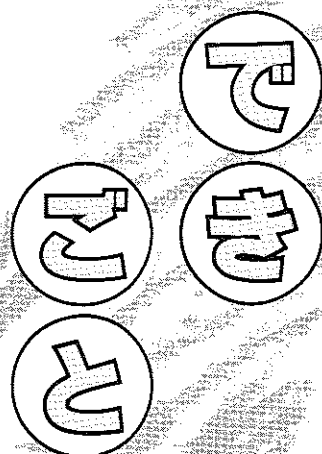
当日参加したわが村三十余



に売れてしまったのも、作品の良さを認められた結果である。

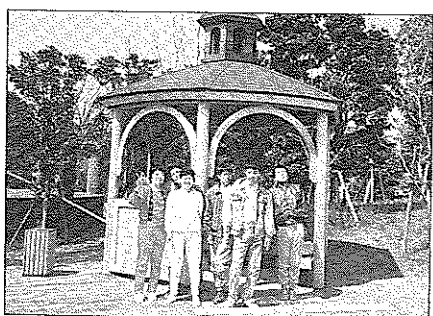


名のボランティアも有意義に聴講して参りました。そして、この大会を機に、さらに新しい活動への意欲を燃やすことと思えます。



ホープ作業所で元気に生活

美駒ボランティア（代表左近政子）グループの招待による、美駒地区老人クラブ会員と合同で千葉県中山競馬場見学に参加した。



これは美駒ボランティア年

間活動計画の中に、特にホープ作業所に通所する心身障害者達の慰安と、豊かな生活の一助としての願いをこめて実施されたものである。

障害を持つ人達の個々の家庭での対応はあるが、障害を持つ人達同志が相携えて、福祉を理解できる人達との交流と遊散。それも県外で！。最高の一日の喜びではなかったろうかと思えます。

豊かな、恵まれた生活を送れるようになった今日、まだ満されないものがあるとすれば弱者サービスの配慮ではないのだろうか。

十分に自分の心を表現できないこの人達に、さらに心配

りをしていきたいものである。美駒のみなさんに感謝申し上げます。

障害児等の母の心のわかる

笑がほ明るく ゆえ

美浦村にボランティア連絡会発足

本村のボランティア活動がサークル毎に本格的に始動してから四年になる。

美駒ボランティアグループというお手本はあったものの、社会福祉協議会が指導的役割をもって、ひとりぐらし老人

手を繋ぎ行く

障害のある子を見とりし

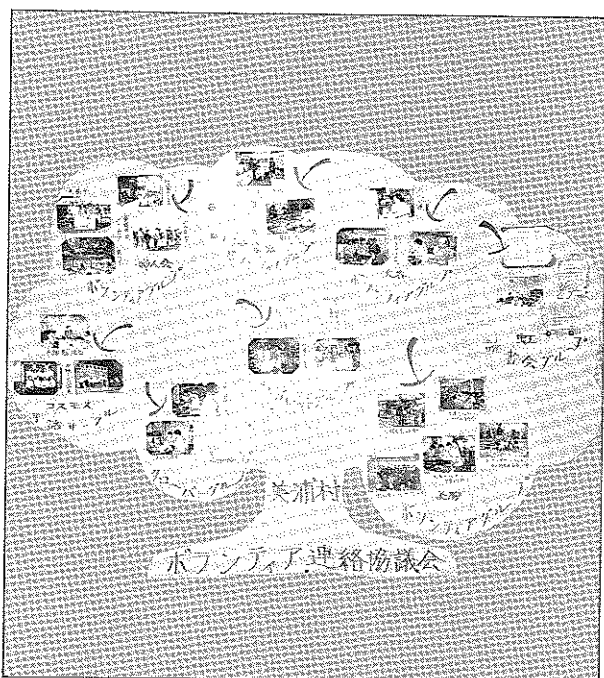
吾れなれば

ボランティア苦にも、

ゆえ

（大谷、久田千枝子）

の食事サービス、特別養護老人ホームにおける、寝たきり老人の介護研修など実習に入ったのもこの頃からである。さらに、その同志も増えて現在は七十余名となった。活動も板につき、食事サービス



を中心に幅広いものとなっている。

この連絡会は、八つのグループと個人ボランティアからなり、各グループから二名の幹事を出し、毎月一回定例会事会を開き、情報の交換や、本村におけるボランティアとしての、活動基点となるべく話し合いを進めることになった。地域に根づく、きめ細かな活動が、さらに発展されることを期待したいものである。

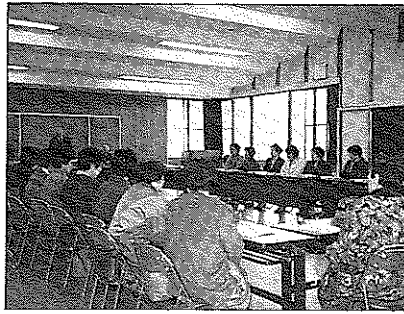
なお、役員は、左記のとおり決まりました。

役職名	氏名	所属グループ名
会長	山崎良江	美浦婦人会
副会長	市川昭子	読書会
〃	橋本綾子	マーガレット会
〃	堀越靖子	手話の会
会計	高松英子	クローバー
〃	小泉常子	木原ボランティア
監事	久田千枝子	大谷ボランティア
〃	左近政子	美駒ボラ

黄門様の里へ研修に

年に一度の本村ボランティアの村外研修。ことしは、いまテレビで好評の、水戸黄門が老後の住居とした西山荘のある常陸太田市に去る三月に訪れた。

さすが市制をひかれているだけあって、東京より離れていても住んで居る人達の文化はいろいろの意味で高い。社協活動も、小地域において住民の細やかな思いやりが



ボランティア普及協力校が二校に

長寿社会を迎えることは、一つには若年者層が少ないことを意味します。私達の社会は働く人達による納税によって維持されることはいままで

届くとの理念に基づいた支部社協が設立されており、充実した活動がなされてきた。支部社協とは、いわば、本村の小学校単位とする三地区に分割したものであり、地区の特色と、住民の自主性を生かした、住民が直接参加して福祉の運営をするものである。いうならば、隣りの人を、隣りの人達がお互いに手をとって幸せを高めて行くこととするものである。

これが、今要望されている真に住民の参加する地域福祉のあり方である。一方、ボランティア活動も活発であり、都市型グループ活動の実際などを拝見、意義ある研修となった。本村ボランティア活動も徐々にその充実がはかられ、他市町村に劣らぬ充実されたものとして期待されます。

ありません。

長寿社会を支える人達の理解と協力をいただかないと、社会的に弱い立場で生活する人々の生活が成り立たなくな

ります。

また、人には心があります。人をいたわる心は、長寿社会ではさらに強調されるものであります。

いま、長寿社会を担うとする子たちに、この現実を理解していただくために、福祉の側面からの取り組みがあります。

ことしは、ボランティア福祉協力校として安中小学校を県から指定をいただいで、福

クロッケー部十周年のお祝い

美浦村老人クラブ連合会のクロッケー部が結成されて十年経過した。部長の吉田憲一さんを頂点とし、長寿社会の老人の生きがいを求めたこの競技は、ゲートボール競技と併せて本村のお年寄りを幸せにした。

毎日のように行われる地域での練習は、とかく老化して行くお年寄りの心と、健康の向上に大きな役割りを果たした。かつて、お年寄りのサロン化といわれ、「まち医者の待合室」とも云われた。

一方、年ごとに増加してゆく地方自治体の国民健康保険の医療費の支出は、財政の圧迫につながるとまで云われた事

祉活動をお願いすることになりました。活動の一つとして学区内のひとりぐらし老人との交流を、高学年の児童が取り組まれることになりました。

また、協力校の指定をうけて三年目となる美浦中学校では、夏休みを利用して、生徒によるひとりぐらし老人の食事サービスをとりあげられ、作ることから、配るまで実技として実施することになりました。

実を救ったと云っても過言ではない。

この素晴らしいお年寄りに与えられたクロッケー競技を美浦村の人達は完全に自分のものにした。

年間に開催する競技大会は二十を超える。いわく、村長杯、工業杯、金融関係杯等々数えるにいとまがない。

吉田部長を中心に、委員のまとまった英知と、協調が他町村に例のない運営方法をもたらした息の長い、素晴らしい内容の持ったものになったのだろう。

この輝かしい実績を、いつまでも持ち続けて欲しいと祈りたいものである。

した。

勿論この他に、老人ホームの訪問や、地域での奉仕活動が予定されています。

この子達が成人し、福祉国家の一員としての責を負う貴重な体験になるであろうし、心強く、頼もしく感ずることあります。

温く見守って行きたいものです。



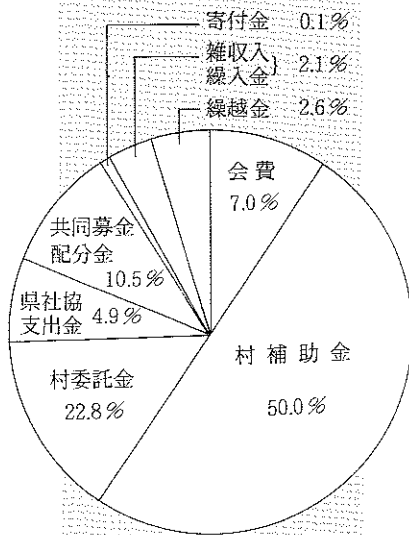
平成2年度の決算報告

年間事業を推進するなかで、年2回の少ない社協だよりで、一部事業実施状況や成果を報告しましたが、平成2年度において特筆すべきことは、一つには、社会福祉基金1千万円目標が計画年度のなかで達成したことであります。二つには、心身障害者の人達の働く、生活する場が農場から福祉センター内に変ったことです。ローソク箱詰め内職作業は、村民の皆様が容易に参加できるようになり、障害者と一般村民の交流が直接に実現できたことだと思えます。

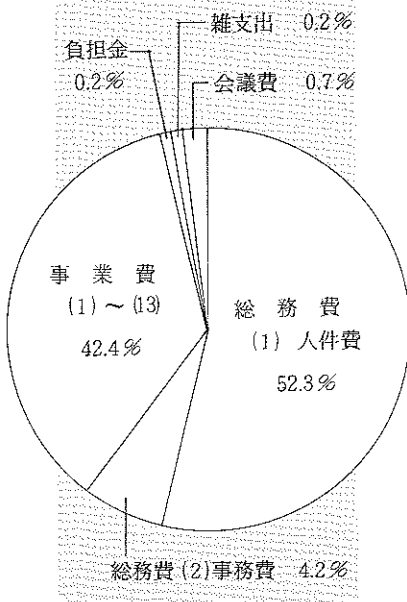
本会の事業は、高齢者や心身に障害を持つ社会的に弱い立場に生活する人達を中心に、村民の皆様方のお力添えをいただきながら努力して参りました。

総収入額は32,961,132円となり、地域福祉事業推進のための村助成金も増額となりました。支出総額は、32,019,890円。941,242円の繰越金がありましたが、老人福祉費、在宅福祉費、ボランティア活動の推進援助など充実した事業遂行になりました。支出概略は下記のとおりです。誌上をもって報告いたします。

歳入の部 32,961,132円



歳出の部 32,019,890円



平成2年度一般会計収支計算書(単位:円)

1. 歳入の部

1. 会費	2,305,370
2. 村補助金	16,474,000
3. 村委託金	7,513,000
4. 県社協支出金	1,628,000
5. 共同募金配分金	3,451,289
6. 寄付金	34,200
7. 雑収入	561,703
8. 繰入金	120,000
9. 繰越金	873,570
計	32,961,132

2. 歳出の部

1. 会議費	230,100
2. 総務費	18,055,484
(1) 人件費	16,724,717
(2) 事務費	1,330,767
3. 事業費	13,589,356
(1) 児童福祉費	16,250
(2) 母子、父子、福祉費	50,000
(3) 老人福祉費	914,036
(4) 心身障害者福祉費	50,044
(5) 在宅福祉費	761,111
(6) ボランティア活動費	569,292
(7) 生活福祉資金貸付指導費	73,200
(8) 広報活動費	242,789
(9) 善意銀行推進費	27,810
(10) 研修費	298,160
(11) 歳末援護費	1,399,897
(12) 福祉教育費	175,718
(13) 共同募金活動費	45,700
(14) 繰出金	4,855,000
(15) 団体助成費	330,000
(16) 家庭奉仕員派遣事業	3,780,349
4. 負担金	80,700
5. 雑支出	64,250
6. 予備費	0
計	32,019,890

善意銀行

(平成3年4月1日～7月20日受付分)

団体(個人)名	金額
嶋田喜代子(美駒E1区)	2,100 円
阿部民子(美駒E2区)	2,100
匿名希望(登宿)	1,310
菅原貞季(トレセン関東地区盆裁会)	25,753
阿部洋喜(美駒A)	14,538
美浦村教育委員会	1,042
木村勤(須賀区)	2,100
木原小学校PTA	20,000
合計	68,943

平成2年度特別会計善意銀行預託払出状況

自 平成2年4月1日
至 平成3年3月31日

単位:円

取 入		支 出	
項 目	金 額	項 目	金 額
繰 越 金	501,172	火災見舞金 全焼2軒 半焼2軒	100,000
善意銀行受入金 (西塚幸子他18件)	988,706	母子、父子家庭新入学児童 記念品贈呈(3件)	30,000
預 金 利 子	19,961	母子、父子家庭中学卒業生徒 記念品贈呈(12件)	60,000
民 生 委 員	60,000	ねたきり老人紙おむつ支給補助	150,000
繰 入 金	700,000	障害者用ジャージ購入補助 (県大会参加)	66,950
		映画観賞券購入補助	22,700
		ねたきり・ひとりぐらし老人 愛の訪問茶葉購入補助	120,000
計	2,269,839	計	549,650



● ホームヘルパーを
利用下さい。
四月一日から家庭奉仕員が
二名となり、村内の寝たきり

お知らせコーナー

老人、あるいはひとりぐらし
老人の五十世帯を訪問し、い
ろいろな援助をしております。
あなたの家庭でも遠慮せず
役場まで申出下さい。

村民の皆様の善意をお受け
するところを社協内で「善意
銀行」と称しております。
寄付されるに当って特に指
定されない場合の金品を取り
扱います。
平成二年度の扱いは別表の

生活福祉資金を 活用下さい。

● 県社協では、低所得者世帯
に無利子又は、低利子で生活
のための資金を貸し付けてい
ます。いろいろな種類があり
ますので、御用の方は社協に!!

とおりとなりました。
● 社協役員会と、善意銀行運
営委員会の承認で、出し入れ
をしておりますが、この利用
価値は大きいものがあります。
● 今後、十分なる活用、あ
るいは預託にご協力願います。

● 心配ごと相談所

● 八月は、暑中もあって弁護士
先生の法律相談はお休みに
です。
● ただし、一般相談は、十五
日がお盆のため十六日に変更
して開いておりますのでお出
で下さい。

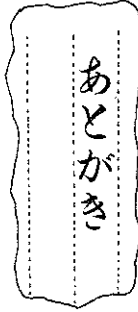
● 三世代歩け歩け大会

● 本会事業として、村内各地
区のお年寄りと子供たちの歩
け歩け大会を九月一日(日)
に実施いたします。

● 詳細は各地区老人クラブ会
長さんにお尋ね下さい。

● 紙おむつ共同購入で

● 寝たきり老人用の紙おむつ
を原価でお分けしています。
● 希望の方は遠慮なく社協ま
で申し込んで下さい。



あとがき

● 長かった梅雨も明け、真夏
の太陽が輝くなかで、暑さと
戦う毎日となり御苦労様です。
● 九州、長崎県雲仙岳の噴火
による被災者の御苦労を察し
ながら、平穩に生活できるこ

● の環境に改めて感謝の念が生
じます。
● 然し、自分だけの幸せはな
いものと肝に銘じるときでも
あります。
● 本村からも、義援金として
大谷小学校児童、美駒地区、
役場職員等々直接送付されて
いることを聞き、人の思いや
りの大切さを感じます。

